

平成26年度 弘前大学総合文化祭「知の創造」
市民公開講座「放射線リスクコミュニケーションを考える」
 (高度実践被ばく医療検討委員会 放射線リスクコミュニケーション教育部門 第4回講演会)
アンケート結果

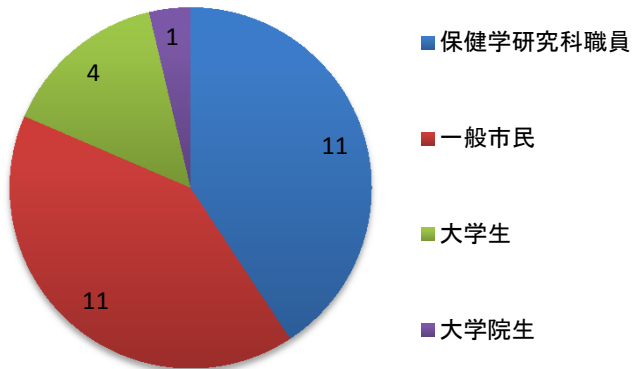
開催日時：10月26日(日) 13:30～15:30

開催場所：弘前大学創立50周年記念会館 岩木ホール

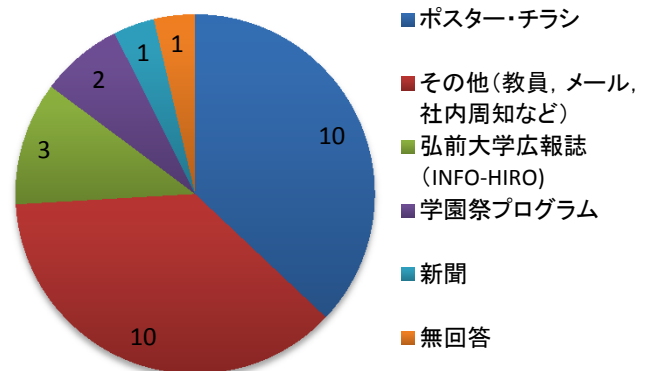
参加者数：45名

アンケート回収数 27 (回収率 60%)

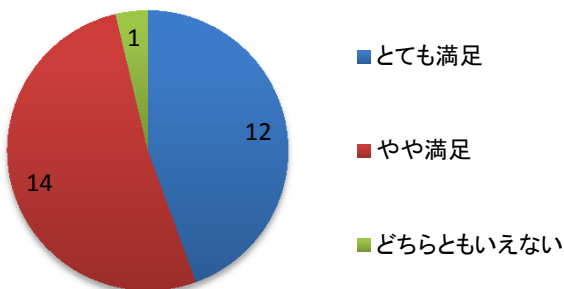
参加者について



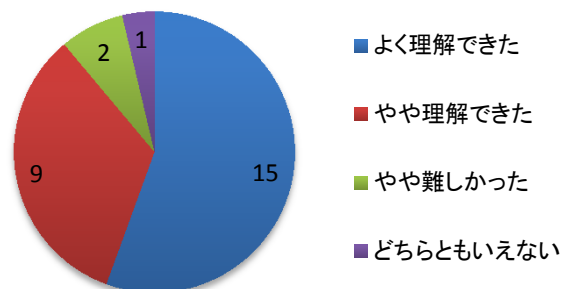
市民公開講座を知ったきっかけ



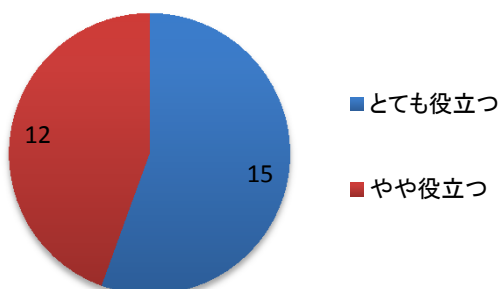
満足度



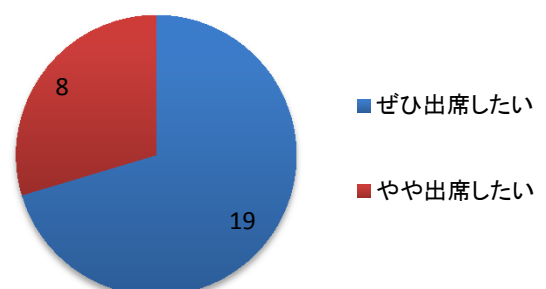
理解度



役立ち度



次回出席について



<特に関心をもった内容>

- ・リスクコミュニケーションに関する行政の取り組み(法律や施策)。
- ・リスクコミュニケーションとカウンセリングの違い。
- ・双方向によるコミュニケーションの大切さを認識しました。
- ・原発事故以降の行政の取り組みが理解できました。放射線に対する精神的なダメージの大きさを理解するとともに風化させてはいけなと感じました。
- ・放射線の人体への影響と基準値について。
- ・情報を出す方にも受け取る方にもルールは必要。おそらくは個々人のメディアリテラシーの問題かなと思います。この辺からアプローチした講演も聞いてみたいと思いました。
- ・個々人により持っているモノサシが違う。この違いをどのように扱っていくのか、対応するのが重要だと思う。
- ・マスコミの影響力は大きい。分からない人は報道をうのみにする。そこを理解した上でのコミュニケーションが必要だと思う。
- ・市民の考えや思いが聞けてよかった。
- ・青森県緊急時対応の避難者の受け入れ(言葉の壁…津軽弁)、情報提供の仕方について。
- ・甲斐倫明先生の講座を聞いて、放射線の水や食品の影響について疑問を出し合うという講演方法で、私も身近なことで、とても興味深く先生や他の人の話をきくことができた。
- ・情報の送手としての注意すべきこと(特に集団に対する)については、多少考えなければならない事は想像が付きましたが、「情報の受け手にも、ルールが必要なのではないか」という提案には目からうろこのような思いがしました。経験や知識が不ぞろいな人達を前に、同じことを伝えても同じような理解はむずかしいと思います。質疑の中で感じたのは、知識や経験の溝をうめるのは、やはり、数字で表せるうごかない事実を前提にしたことを伝えることが大事だということでした。何を前提に事実を伝えるのか、受け手と送り手双方の立場から考えることが必要だと思いました。
- ・住民の方々から上がる不安の声が、具体的に紹介されていましたが、「虫に触っても良いのか？」などの質問は、本当に身近なことですが、あまりとりあげて説明される機会がないなと感じました。住民の方々、今どのように生活していけば良いのかという、具体的な情報の発信が必要なんだと学びました。
- ・情報の発信について、情報を発信するか、しないかの判断においては、ルールが必要である、ということに納得でした。与えられた情報について、自分で考え、判断するという姿勢は、今の時代においてとても重要だと思いました。
- ・放射線の被害を受けていた住民がどんな不安、いらだち、焦りを感じていて、そこに対してどう対応していったかというところに関心を持ちました。一人一人不安に思うところは違っていると思うので、難しかったらうなと思いました。
- ・情報について説明することの大切さにも関心をもちました。新聞やテレビの情報の誤解がより大きな不安につながるので、クライシスコミュニケーションの難しさを考えることができました。

<もっと詳しく知りたいと思った内容／ご意見・ご感想>

- ・講演1:一般市民にはやや難解かもしれない。
- ・講演2:市民参加型は良かった。講演2→講演1の順序が良かったのではと思います。
- ・リスクコミュニケーションを実際に実践している方。
- ・原発事故直後の対応等、医療的な対応を中心に知りたいと思います。
- ・講演2では専門家としての先生の見解や解説をもっと聞きたかった。皆さんに意見は求めましたが、深掘りはあまりなかったように思います。
- ・信頼されていないと発信した情報が信頼されないのだと思う。そこが問題で難しい。
- ・「放射線リスクコミュニケーション」という言葉はあまりなじみがなく、なかなか一般の人は興味を持ちにくいのかなと思いました。若い人も来られるような工夫があったらなと思います。講演内容はとても分かりやすく、あまりよく考えることのなかった放射線リスクコミュニケーションについて知る機会になりました。